

議案第76号

令和7年度 川崎市下水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和7年度川崎市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 処 理 面 積	10,724 ヘクタール
(2) 処 理 水 量	201,097,600 m <sup>3</sup>
(3) 水 洗 化 助 成 戸 数	21 戸
(4) 主要な建設改良事業	
下水幹枝線、ポンプ場及び水処理センター等整備事業	22,000,000 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第1款 下 水 道 事 業 収 益	45,645,073 千円
第1項 営 業 収 益	36,783,953 千円
第2項 営 業 外 収 益	8,353,720 千円
第3項 特 別 利 益	507,400 千円

支 出

第1款 下 水 道 事 業 費 用	43,653,525 千円
第1項 営 業 費 用	41,398,725 千円
第2項 営 業 外 費 用	2,224,800 千円
第3項 特 別 損 失	10,000 千円
第4項 予 備 費	20,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 19,485,525 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,333,201 千円並びに過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 18,152,324 千円で補填するものとする。）。

## 収 入

第1款	下水道事業資本的収入	38,933,230 千円
第1項	企業債	26,687,000 千円
第2項	一般会計出資金	72,076 千円
第3項	国庫補助金	6,000,000 千円
第4項	負担金	47,410 千円
第5項	水洗便所等貸付事業収入	30 千円
第6項	基金繰入金	6,122,484 千円
第7項	固定資産売却代金	4,210 千円
第8項	投資収入	10 千円
第9項	その他資本的収入	10 千円

## 支 出

第1款	下水道事業資本的支出	58,418,755 千円
第1項	建設改良費	22,000,000 千円
第2項	企業債償還金	32,244,246 千円
第3項	水洗便所等貸付事業費	30 千円
第4項	投資	3,665,683 千円
第5項	その他資本的支出	498,796 千円
第6項	予備費	10,000 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
令和7年度 土地借上料	令和7年度から 令和12年度まで	46,120千円
令和7年度 入江崎余熱利用プール 管理運営委託経費	令和8年度	155,656千円
令和7年度 下水道管渠維持管理業務関連経費	令和8年度	788,696千円
令和7年度 下水道施設等維持管理業務 関連経費	令和7年度から 令和8年度まで	296,253千円
令和7年度 加瀬水処理センター・加瀬処理区 ポンプ場運転点検業務委託経費	令和7年度から 令和12年度まで	2,236,630千円
令和7年度 入江崎総合スラッジセンター 運転点検業務委託経費	令和8年度から 令和12年度まで	2,351,318千円
令和7年度 私道共同排水設備修繕工事助成金	令和8年度	6,000千円
令和7年度 下水道施設等撤去関連経費	令和8年度	617,123千円
令和7年度 公共下水道建設事業費	令和7年度から 令和10年度まで	24,420,184千円
令和7年度 財務会計システム関連経費	令和8年度	13,831千円
令和7年度 「水洗便所改造等資金融資あっせん」 に伴う金融機関に対する損失補償	令和7年度から 債務消滅時まで	465千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
1 公共下水道整備事業	千円 14,812,000	政府資金、銀行その他から普通貸借又は証券発行(他の地方公共団体との共同発行を含む。)による。起債の時期は当該年度とする。ただし、事業進捗又は財政その他の都合により、全部又は一部を翌年度へ繰越して起債することができる。	年6.0%以内 ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の年度における利率とする。	借入れの日から40か年以内(据置期間を含む。)に償還する。ただし、企業財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮又は本議決の範囲内で借換えすることができる。
2 借換債	11,875,000	銀行その他から普通貸借又は証券発行(他の地方公共団体との共同発行を含む。)による。起債の時期は当該年度とする。	同上	借入れの日から25か年以内(据置期間を含む。)に償還する。ただし、企業財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮又は本議決の範囲内で借換えすることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、22,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 営業費用、営業外費用及び特別損失の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 4,335,220 千円  
(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業助成及び雨水処理費等に充当するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、12,690,499 千円である。

令和 7 年 2 月 13 日提出

川崎市長 福田 紀彦